

本年度 アカデミー賞® バネート 国際長編映画賞

インディペンデントスピリット賞 外国映画賞受賞
英アカデミー賞Wノミネート 監督賞&外国語映画賞
トロント国際映画祭 正式出品
ヴェネチア国際映画祭 正式出品
ロッテルダム国際映画祭 観客賞受賞

そこに、神はいなかった

アイダよ、何処へ？

QUO VADIS, AIDA?



監督:ヤスミラ・ジュバニッチ『サラエボの花』『サラエボ、希望の街角』 出演:ヤスナ・ジュリッチ、イズディン・バイロヴィッチ
ボスニア・ヘルツェゴヴィナ/オーストリア/ルーマニア/オランダ/ドイツ/ポーランド/フランス/ノルウェー/トルコ合作映画|ボスニア語・セルビア語・英語|2020年|101分|原題:Quo Vadis, Aida?

日本語字幕:吉川美奈子 提供:ニューセレクト 配給:アルパトロス・フィルム

© 2020 Deblokada / coop99 filmproduktion / Digital Cube / N279 / Razor Film / Extreme Emotions / Indie Prod / Tordenfilm / TRT / ZDF arte

Screenwriter and Director Jasmina Zhanic Cast Jasna Duricic, Izudin Bajrovic, Boris Isakovic, Johan Heldenbergh, Raymond Thiry, Boris Ler, Dino Bajrovic, Emir Hadzihafizbegovic, Edita Malovic
Director of Photography Christine A. Maier Production Designer Hannes Salat Costume Designer Malgorzata Karpiuk Costume Designer / The Netherlands / Ellen Lens Make-Up / Hair Designer Michaela Payer Editor Jaroslav Kaminski Sound Designer Igor Camo
Music Composed and Orchestrated by Antoni Komasa - Lazarkiewicz Executive Producers Nedžad Cerkic Bredja, Mike Goodridge Co-Producers Bruno Wagner, Barbara Albert, Antonin Svoboda, Cristian Nicolescu, Els Vandervorst, Roman Paul, Gerhard Meixner
Ewa Puszczyńska, Nicolas Kischbach, Eric Nève, Ingunn Sandelin, Eric Vogel, Ibrahim Eren, Margaux Juvenat, Simon Gabriele Producers Danir Ibrahimovic, Jasmina Zhanic International Sales INDIE SALES

1995年、夏。戦後欧州最悪の悲劇「スレブレニツァ・ジェノサイド」
事件の全貌、そして家族を守ろうとした一人の女性の運命とは？

aida-movie.com





辛口映画批評サイト
ロッドेंटマト
100%
FRESH!
(2021/6/4現在)



**圧倒された。
稀に見る傑作!**

マイク・リー 映画監督

凄まじい迫力。
目に焼きついて離れない

THE HOLLYWOOD REPORTER

驚異的な作品!

INDIEWIRE

魂が揺さぶられる

VARIETY

わずか四半世紀前のボスニアで何が起こったのか?

戦後ヨーロッパ最悪の集団虐殺事件「スレブレニツァ・ジェノサイド」の真実とは――

ボスニア紛争末期の1995年7月11日、ボスニア東部の街スレブレニツァがセルビア人勢力の侵攻によって陥落。避難場所を求める2万人の市民が、町の外れにある国連施設に殺到した。国連保護軍の通訳として働くアイダは、夫と二人の息子を強引に施設内に招き入れるが、町を支配したムラディッチ將軍率いるセルビア人勢力は、国連軍との合意を一方的に破り、避難民の“移送”とおぞましい処刑を開始する。愛する家族と同胞たちの命を守るため、アイダはあらゆる手を尽くそうと施設の内外を奔走するが――。

〔ボスニア紛争とは〕ユーゴスラヴィアから独立したボスニア・ヘルツェゴヴィナで1992年～95年まで続いた紛争。ボシュニャク人、セルビア人、クロアチア人の3民族による戦いの結果、人口435万人のうち、死者20万人、難民・避難民200万人が発生した。



『ノー・マンズ・ランド』以来19年ぶりにボスニア映画としてアカデミー賞ノミネート!

故郷ボスニアの紛争による傷跡を描き続ける女性監督ヤスミラ・ジュバニッチの最高傑作

綿密なリサーチに基づき(ジェノサイド=集団虐殺)というセンシティブなテーマに取り組んだのは、多感な十代の時にこの惨たらしい紛争を経験したヤスミラ・ジュバニッチ監督。ベルリン国際映画祭金熊賞を受賞したデビュー作『サラエボの花』(06)以降、一貫してボスニア紛争の傷跡を描き続けてきた。重い事実を今に伝える本作は、2020年ヴェネチア国際映画祭で大反響を呼び、ボスニア映画としては『ノー・マンズ・ランド』(01)以来、19年ぶりに米アカデミー賞国際長編映画賞へのノミネートを達成。インディペンデント・スピリット賞では外国語映画賞を受賞し、大手映画批評サイトのロッドेंटマトで100%フレッシュを獲得するなど、ジュバニッチ監督の最高傑作として絶賛を博している。



アイダよ、何処へ?

QUO VADIS, AIDA?

監督:ヤスミラ・ジュバニッチ『サラエボの花』『サラエボ、希望の街角』 出演:ヤスナ・ジュリッチ、イズディン・バイロヴィッチ
ボスニア・ヘルツェゴヴィナ/オーストリア/ルーマニア/オランダ/ドイツ/ポーランド/フランス/ルウェーノ/トルコ合作映画|ボスニア語・セルビア語・英語|2020年|101分

原題: Quo Vadis, Aida? | 日本語字幕: 吉川美奈子 提供: ニューセレクト 配給: アルバトロス・フィルム

© 2020 Deblokada / coop99 filmproduktion / Digital Cube / N279 / Razor Film / Extreme Emotions / Indie Prod / Tordenfilm / TRT / ZDF arte

aida-movie.com

PG12

4月17日(日) ▶ 25日(月) バルシネマ

【同時上映】護られなかった者たちへ (一般) 1300円 (シニア) 1100円 重要: 4/17 (日) 19:45の回は林映

護られ アイダ	10:45 1:25	3:25 5:55	7:45 (10:10終)
------------	---------------	--------------	------------------